

## 資料編

---

1. 所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画策定経緯
2. 市民アンケート調査の結果
3. 関係団体ヒアリング調査の結果
4. 用語解説

## 1. 所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画策定経緯

日時	項目	内容
令和元年 5 月 29 日	令和元年度 第 1 回 所沢市みどりの審議会	1. 所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画の主な位置づけ 2. 取り組みのコンセプト 3. 業務フローと工程
令和元年 6 月 17 日～ 令和元年 6 月 28 日	市民アンケート調査	・電子申請サービスによるアンケート調査 ・市役所ロビーアンケート調査
令和元年 7 月 10 日～ 令和元年 7 月 31 日	関係団体ヒアリング	・みどりのパートナー登録団体及びふるさとの川再生事業団、水辺のサポーター制度登録団体、東川の桜管理団体を対象とした調査
令和元年 8 月 20 日～ 令和元年 8 月 26 日	個別ヒアリング	・関係者個別ヒアリング
令和元年 8 月 27 日 令和元年 8 月 28 日	関係各課ヒアリング	・関連事業ヒアリング
令和元年 9 月 26 日	所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画策定に係る関係課会議（第 1 回）	・所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画（案）について
令和元年 9 月 27 日	令和元年度 第 3 回 所沢市みどりの審議会	・所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画の経過報告（現況調査等）について
令和元年 10 月 30 日	所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画策定に係る関係課会議（第 2 回）	・所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画（案）について
令和元年 11 月 21 日～ 令和元年 11 月 28 日	庁内全課意見照会	・所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画（案）について
令和元年 11 月 21 日	所沢市みどりの審議会委員へ計画案送付	
令和元年 12 月 9 日～ 令和元年 12 月 17 日	関係自治体等訪問・打合せ	・清瀬市役所 ・入間市役所、東村山市役所 ・埼玉県みどり自然課、東大和市役所 ・西武・狭山丘陵パートナーズ ・東京都北多摩北部建設事務所 ・埼玉県川越県土整備事務所
令和 2 年 1 月 10 日	政策会議（発議）及び意見照会	・所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画（案）の審議、了承
令和 2 年 1 月 10 日～ 令和 2 年 1 月 16 日	各部宛意見照会	・所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画（案）について
令和 2 年 1 月 23 日～ 令和 2 年 2 月 7 日	パブリックコメント手続	・所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画（案）について
令和 2 年 2 月 17 日	令和元年度 第 4 回 所沢市みどりの審議会	・所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画の経過報告（パブリックコメント案）について
令和 2 年夏	所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画の公表	

## 2. 市民アンケート調査の結果

### (1) 調査概要

#### ■調査期間

令和元年6月17日（月）～28日（金）

#### ■調査方法

本調査は、短期間に多世代にわたる市民からの意見を聴取するため、①メルマガアンケートと②市役所ロビーアンケートの2つの方法を用いた。

##### ①メルマガアンケート

ところざわほっとメールの登録者を対象に、所沢市電子申請・届出サービスの仕組みを用いて実施した。

##### ②市役所ロビーアンケート

インターネット等を利用する機会の少ない方の意見を聴取するよう、市役所内にブースを設け、設問に対する回答の選択肢にシールを貼る形式で実施した。



市役所ロビーアンケートの様子

#### ■回答状況

①メルマガアンケート及び②市役所ロビーアンケートのそれぞれの回答状況は以下の通りである。

①メルマガアンケート	119件（回答者数）
②市役所ロビーアンケート	1,511件（総回答数）

## (2) 調査結果

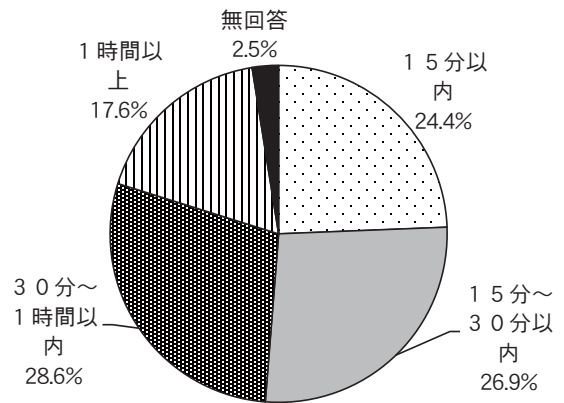
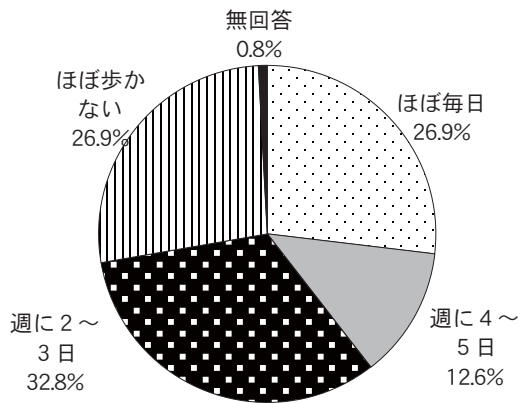
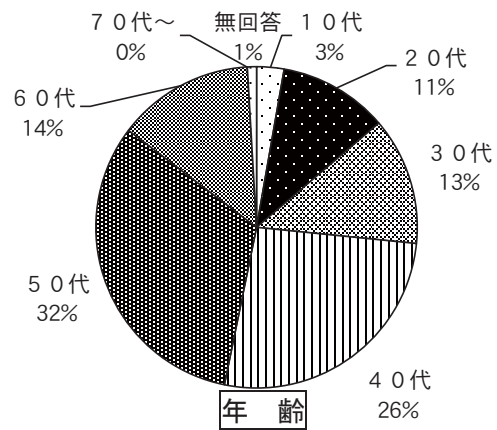
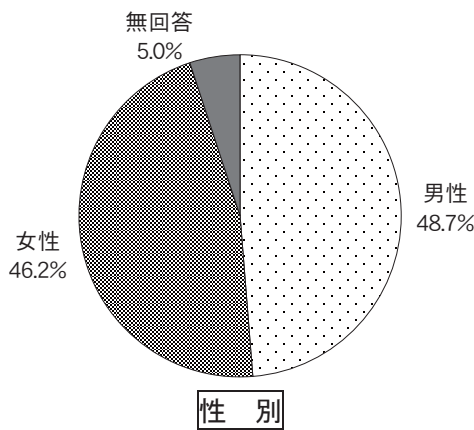
### 問1. 属性

#### 【メルマガアンケート】

- ・男女比はおおむね同程度であった。
- ・年齢は50代が30%と最も多く、50代、40代を合わせた割合は、全体の半数以上となった。
- ・まちを歩く頻度では、週に2~3日程度が最も多くなった。まちを歩く時間は、30分から1時間以内が最も多くなった。
- ・散策路の情報源としては、インターネットが最も多くなった。

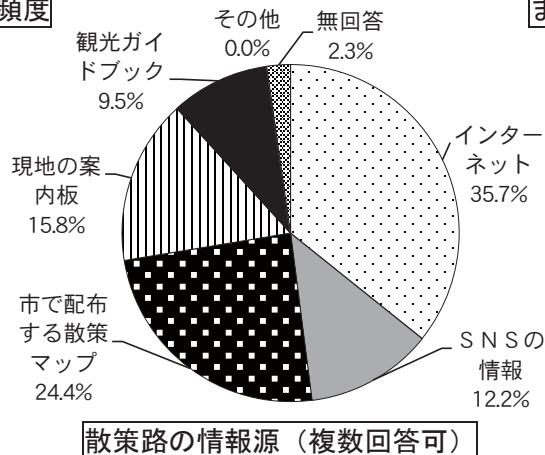
#### 【市役所ロビーアンケート】

- ・対面式としたため属性情報を得ていないが、平日の昼間という時間帯のため、高齢者が多くみられた。



まちを歩く頻度

まちを歩く時間

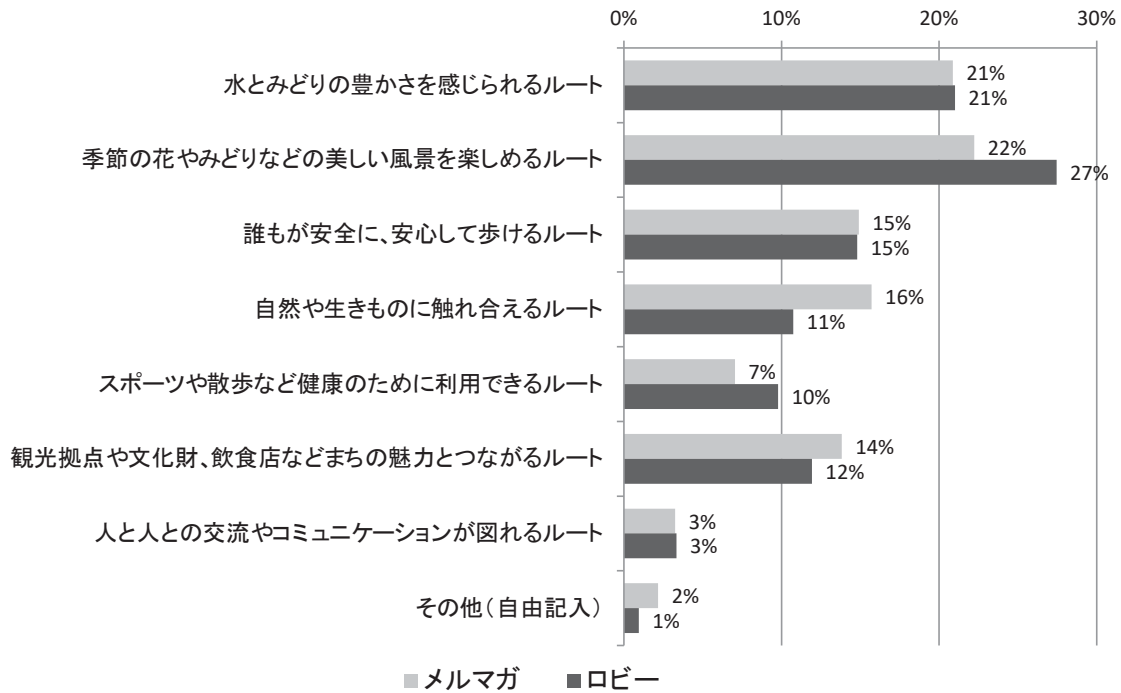


散策路の情報源 (複数回答可)

## 問2 どんな散策ルートを選びたいですか（複数回答可）

市役所ロビーアンケート、メルマガアンケートともに「季節の花やみどりなどの美しい風景を楽しめるルート」「水とみどりの豊かさを感じられるルート」を選びたいとの回答が多い。

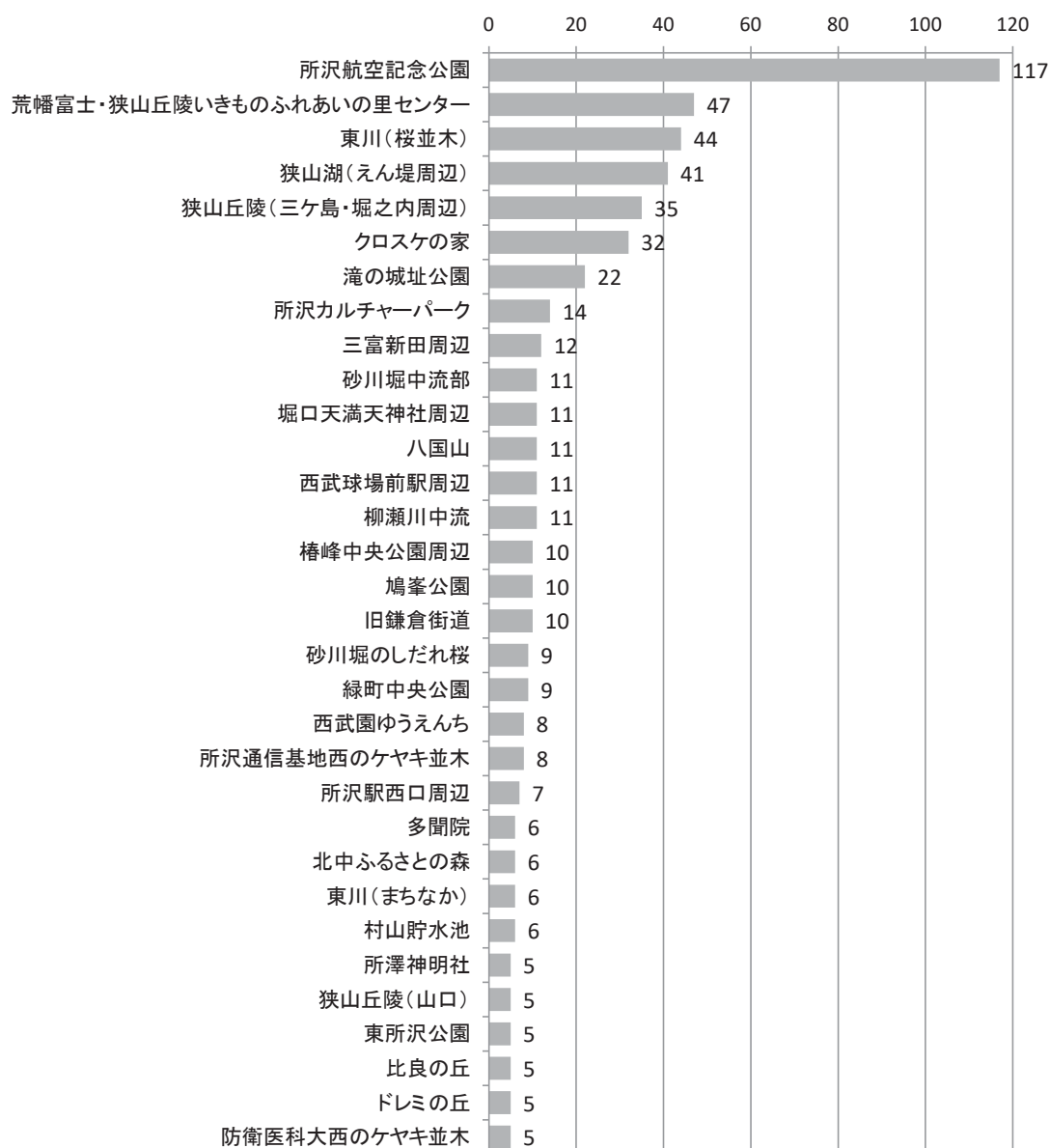
### 歩きたい散策ルート



### 問3 散策におすすめの場所を教えてください（自由記入）

市役所ロビーアンケート、メルマガアンケートともに所沢航空記念公園との回答が最も多く（117点）をあげた。次いで荒幡富士・狭山丘陵いきものふれあいの里センター（47点）、東川（桜並木）（44点）、狭山湖（えん堤周辺）（41点）、狭山丘陵（三ヶ島・堀之内周辺）（35点）、クロスケの家（32点）となった。所沢航空記念公園以外で30点以上となった場所は、東川（桜並木）以外は全て狭山丘陵周辺であり、合計155点となる。これは最も多い所沢航空記念公園を上回る点数となった。東川については、桜の時期をあげる方が多かった。

散策のおすすめの場所



(※グラフは市役所ロビーアンケート・メルマガアンケートを合算し表示)

散策におすすめの場所（市役所ロビーアンケート結果）

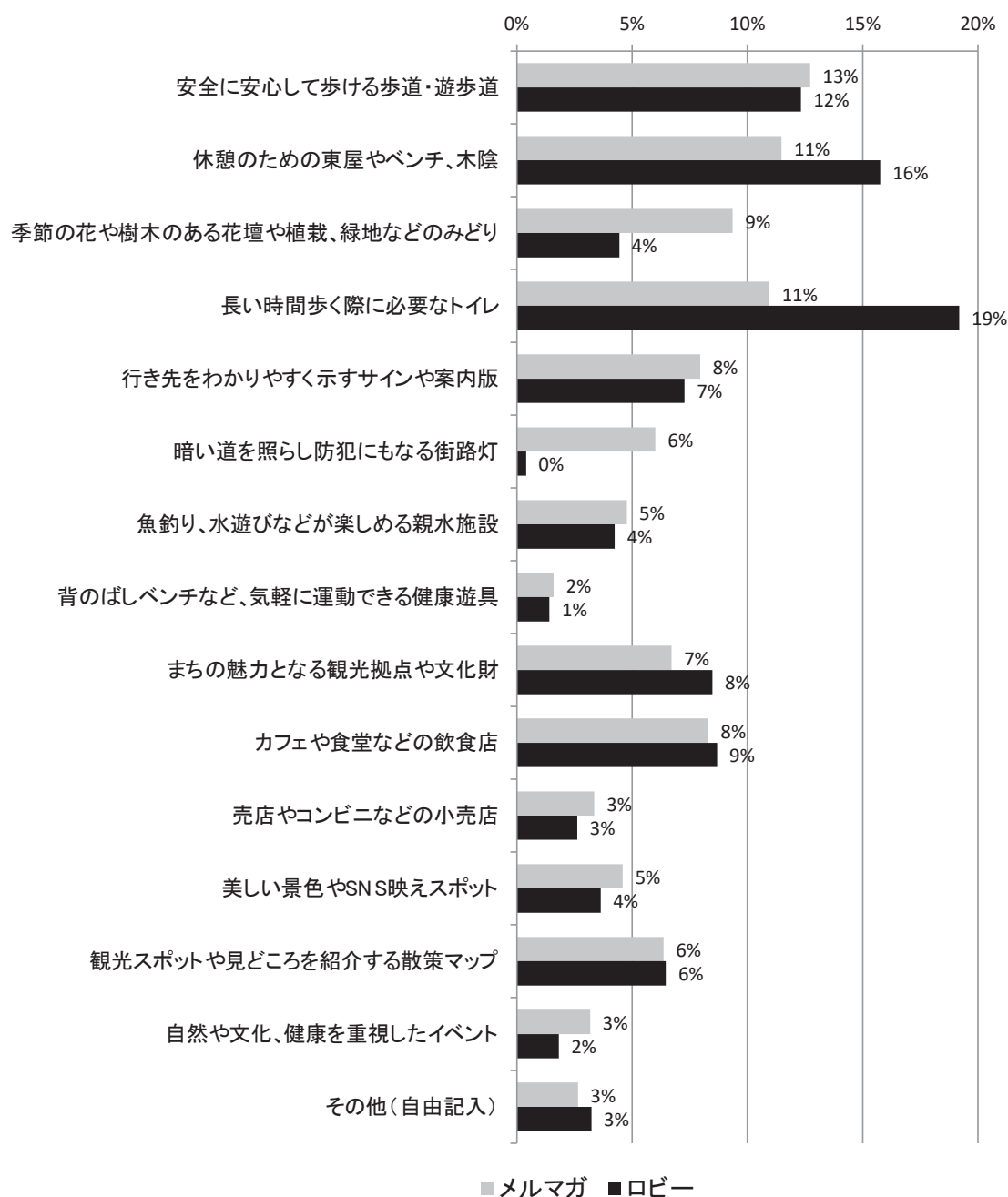


## 問4 どのような施設や仕組みがあれば「歩きたい」と思いますか

メルマガアンケートでは、「安全に安心して歩ける歩道・遊歩道」が、市役所ロビーアンケートでは「長い時間歩く際に必要なトイレ」との回答が多かった。

市役所ロビーアンケートでは、「長い時間歩く際に必要なトイレ」、「休憩のための東屋やベンチ・木陰」がメルマガアンケートと比較し特に多いのが特徴的であった。市役所ロビーアンケートの回答者が平日昼間ということもあり高齢者が多く、その属性が回答に色濃く反映したものと伺える。

歩きたくなる施設や仕組み





### 3. 関係団体ヒアリング調査の結果

#### (1) 調査の概要

本調査は、水辺やみどりの保全、緑化活動などに活動する市民団体を対象に、「活動場所や内容」や「活動場所周辺での散策におすすめのところ」、「活動場所周辺での、散策に配慮が必要なところ、課題となるところ」などについて、情報やご意見を把握することを目的とした。

#### ■調査期間

令和元年7月10日（水）～31日（金）

#### ■調査方法

本調査は、みどりのパートナー51団体、ふるさとの川再生事業団2団体、水辺のサポーター6団体、東川の桜管理団体6団体を対象とし、調査票及びマップを郵送にて配布・回収を実施した。



調査票及びマップ（記入例）

#### ④回答状況

回答状況は以下の通りである。

回答団体数	45 団体
回答率（45 団体／63 団体）	71.4%

※各団体の登録に重複があるため、団体の合計数と配布数は一致しません。

#### ⑤調査の内容

調査内容は以下の通りである。

①所属する団体の活動場所・活動内容
②活動場所周辺での、散策におすすめのところ
③活動場所周辺での、散策に配慮が必要なところ、課題となるところ
④その他ご意見

No.	活動場所	散策におすすめの場所(概要)
1	荒幡富士	荒幡富士(山野草、築山)、浅間神社(春の例大祭、夏の大祭、山開き、秋の大祭、元旦祭)
2	北中緑地、トトロ12号地	北中緑地(景観、桜、モミジ)
3	くぬぎ山	くぬぎ山(緑、紅葉)、くぬぎ山コンサート
4	武蔵野台地に広がる平地林とその周辺	くぬぎ山、おおたかの森の再生地、小手指駅周辺・小手指車両基地周辺・北中～狭山市水野・北岩岡～狭山市北入曾・旧鎌倉街道沿い・下富から狭山市上赤坂・カルチャーパークから東部クリーンセンター・若松小学校周辺の平地林、鳩峯公園、清進小学校ビオトープ、伸栄小学校ビオトープ、緑町中央公園ビオトープ、東川・日比田調節池、砂川堀・北野調節池・下富調節池、フラワーヒル朝市、アラルフェス
5	鎌倉街道沿い緑地	雑木林(風景、野草、鳥たち)、鎌倉街道
6	菩提樹池里山保全地域	児泉橋付近の桜、中峰の一本桜、菩提樹田んぼの会の活動、年間イベント
7	菩提樹池周辺	中峰の一本桜、菩提樹池周辺(新緑、古木)、大櫛と古民家、翁神社(子供神輿、初午祭)、子供広場、スポーツ広場
8	所沢市若狭地内	—
9	郷土窪公園並びに東所沢付近の街路樹周辺	—
10	狭山ヶ丘東口駅前ロータリー周辺	三ヶ島の雑木林、東狭山ヶ丘～北中雑木林、歴史散歩
11	打越公園周辺花壇	ご飯坂、打越公園
12	東所沢公園の近く	日比田橋より新日比田橋までの彼岸花、東川の桜並木、野鳥、日比田貯水池、お祭り
13	牛沼市民の森	牛沼市民の森の自然・野草、東川の桜並木
14	若狭地蔵市民の森	若狭地蔵市民の森(鳥、昆虫)、一丁目商店街
15	和ヶ原公園	和ヶ原公園の花・みどり、ふれあい祭り、和ヶ原ふるさと祭り、子ども体操会
16	緑町中央公園の西南側	緑町中央公園(花、野鳥、催し物、盆踊り(8月)、フリーマーケット)
17	小手指南緑地	六ッ家川暗渠のあじさい、藤森稲荷神社の藤、全徳寺のロウバイ、北野天神社
18	松井公民館花壇	桜木神社周辺の雑木林の風景、関東運輸局周辺からの富士山
19	緑のトラスト2号地入口付近	緑のトラスト2号地(植物、野鳥、昆虫)
20	せせらぎ遊歩道花壇	—
21	久米八幡越市民緑地	久米の農耕、活動
22	林川の土手護岸あたり	林川(花、カモ)
23	所沢市並木地内	—

No.	活動場所	散策におすすめの場所(概要)
24	UR新所沢団地内及び周辺	新所沢西地区共同花壇、新緑のけやき通り、愛宕神社、駅前の女神の像、新所沢さくら祭り、ぐりーんほげっと
25	高橋～大鐘橋の間	高橋の花、上山口夏祭り
26	椿峰59街区緑地	椿峰の緑道、つばきの森のマーケット(椿峰中央公園)
27	所沢市北秋津地内	—
28	ふじの森	—
29	六所神社前の東川護岸	児童遊園地、東川河川敷(11月～5月:パンジー等)
30	大鐘公民館広場及び周辺	狭山湖堰堤(野鳥、富士山)、堀口天満天神社
31	狭山丘陵(早稲田大学の近く)	狭山丘陵(野鳥)、早稲田大学、所沢キャンパス学園祭、和幸の森、所沢ひまわり畑コンサート、狭山湖、比良の丘
32	下新井緑地	下新井緑地の植物、所沢カルチャーパークとその周辺、東部クリーンセンター
33	所沢市上山口地内	狭山湖、上山口中学校裏(もみじ)、トロ1号地(カモ、おたまじゃくし)
34	エステシティ武野原南公園	エステシティ東西の街路樹、道傍公園、三富新田の石碑、エステシティ中央エステふれあい夏祭
35	上山口全域(狭山丘陵、水田、散策路)	—
36	柳瀬川沿い グリーンヒル・コミュニティガーデン	四季の草花彩るガーデン、柳瀬川(カワセミ、アユ)
37	樽井戸川の水源付近	棚田、樽井戸の源流及び隣接する里山の動植物、稲刈り時のはざかけ、靴谷八幡神社、浅間神社例大祭、やぶさめ祭、ワークショップ
38	不動橋を中心にして、砂川源流から小手指付近まで	不動橋林床(トロの森14,27,42)、誓詞橋下流右岸、砂川遺跡他古代遺跡11ヶ所、ヘイケボタル、散策路、小手指のシダレザクラ
39	安松たんぼ	松戸橋(柳瀬川に飛来するカワセミやサギ)、安松たんぼ、松戸橋公園
40	東川の支流	—
41	砂川堀周辺三ヶ島橋から寺山橋まで	八幡湿地
42	柳瀬川支流 菩提樹	小川(メダカ、ザリガニ)、里山、御嶽神社、竹寺
43	東川の旭橋から松井橋の護岸まで	さくら祭り、熊野神社大蛇のあるお宮、東川付近の桜並木
44	東新井町	東西新井町さくら祭り、東川沿いの桜
45	東川新郷橋より下流、柳瀬川合流まで	東川の桜並木、南永井八幡社、滝の城まつり

## 4. 用語解説

用語	説明
<b>あ</b>	
インバウンド	外国人が日本を訪れ観光すること。又は、訪日外国人旅行者のこと。
ウッドチップ	木材を細かくチップ状に砕いたもの。遊歩道などの舗装に用いることで、照り返しを軽減しヒートアイランド現象を緩和したり、間伐材の活用となり森林の保全に貢献するなど、環境配慮が可能。
エコ・モビリティ	マイカーに頼りすぎた生活を見直し環境にやさしい移動をすること。
エコツーリズム	観光や旅行を通じて自然保護や歴史・文化・環境保全への理解を深めようという考え方、又はそのような考えによる観光の一形態。
エコロジカルネットワーク	生物多様性を保全するため、生態系の拠点となるみどりを適切に配置し、つながりをもたせること。生きものの生息・生育地となるみどりの核や緩衝となるみどりを適切に配置するとともに、生きものの分散・移動による個体群の交流を促進するため、生態的なみどりの回廊を確保することが基本となる。
S D G s (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)	「誰一人取り残さない」持続可能な世界を実現するための17の国際目標。2015年の国連サミットで採択された。
S N S	ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略。登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービスのこと。Facebook、Twitter、LINEなど。
オープンスペース	公園や広場、運動場、水面など、建物に覆われていない土地や敷地内の空地の総称。
屋上緑化	建物の屋根や屋上植栽基盤をつくり植栽する緑化。みどりの創出による気温低減や建物の室内温度及び表面温度の上昇を防ぐ効果がある。
<b>か</b>	
回遊性	店舗や遊歩道の連続性によって、観光客が様々な観光拠点を巡り歩くこと。これを高めることでリピーターの創出にもつながる。
河畔林	河川と相互に影響を及ぼす(洪水をうける、日陰をつくるなど) 範囲の森林。水生・陸上生物の生息空間を形成するとともに、日射の遮断効果、水生昆虫や魚類の餌の供給、土砂の流出防止、水質の浄化などの働きがある。
かみの山	かみの山は、西武池袋線の秋津駅から所沢駅に向かうと、所沢の玄関口として左前方に広がって見えてくる雑木林で「となりのトトロ」の舞台の1つとなっている。
環境負荷	人の活動により、環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障のおそれがあるものをいう。
観光コンシェルジュ	所沢市の文化・歴史を後世に語り継ぐことや、市内外から訪れる方へ市の魅力をPRするため、市が養成したボランティアのこと。
休耕地	畑作を行っていない土地。目下、田畑として利用していない土地。

用語	説明
クアオルト®健康ウォーキング	ドイツのクアオルトで活用されている、気候性地形療法の手法やコースの基準を基本とし、日本の自然環境や気候に適合させ、路面の傾斜や変化、安全対策などに配慮した運動療法。
くぬぎ山	埼玉県南部、首都圏30km圏に位置する大規模な平地林で、所沢市、川越市、狭山市、三芳町にまたがる約152haの区域。平地林の減少が続くなか、武蔵野の面影を残す一団の平地林が残り、様々な取り組みが行われている。
クラウドファンディング	「クラウド」(Crowd=群集)と「ファンディング」(Funding=資金調達)を組み合わせた造語で、インターネットサイトを通じて、世の中に呼びかけ、共感した人から広く資金を集める仕組み。
COOL JAPAN FOREST 構想	所沢市と株式会社KADOKAWAが、共同プロジェクトとして取り組んでいる、文化と自然が共生した、誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」地域づくりを進める構想。
グリーンツーリズム	農山村で、自然や文化、人々と交流を楽しむ滞在型の余暇活動。
クロスケの家	公益財団法人トトロのふるさと基金が森を守るための活動拠点として管理している古民家。
健幸長寿	高齢になっても、身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること。「健幸(けんこう)」=健康で幸せ。
公益財団法人トトロのふるさと基金	ナショナル・トラスト活動を中心に、「トトロの森」を守り後世に残し伝えていくための取り組みを続ける公益財団法人。
公共施設緑化ガイドライン	公共公益施設の緑化指針で、緑化基準、緑化方法、維持管理、植栽候補種、緑化協議などを定めたもの。
公衆無線LAN	無線LANを、街なかで使えるようにしたサービス。
コバトン健康マイレージ	歩数計を使ってウォーキングを楽しく続けられ、健康づくりを進めていく埼玉県が実施するサービス。
コミュニティガーデン	地域の住民グループが主体となって、趣味、学習、環境保全など多様な目的のもと、花や野菜を育てる活動が行われる場のこと。

## わ

埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市で構成するまちづくり協議会。圏域の特性を活かした魅力ある地域づくりに取り組んでいる。
さいたま緑の森博物館	狭山丘陵の雑木林や湿地などの自然そのものを展示物とした、入間市と所沢市にまたがるおよそ85haの広さの体験型の博物館。
サイン	人々にまちの地理、方向や施設の位置等の情報を提供する媒体としての標識、地図、案内誘導板等の総称。
在来種	ある地域に現在生息・生育する生きもののうちで、昔からあった種類。一般的に、郷土種と同様に使われ、自然の回復には、気候風土に合っているこれらの種類を用いるのがよいとされている。
里山保全地域	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例に基づき指定される地域制緑地のひとつ。建築行為など一定の土地利用を制限することにより、みどりを保全するとともに、様々な主体による適切な維持管理を進めることにより、みどりの質を高め、将来に継承していく制度。
狭山丘陵いきものふれあいの里センター	狭山丘陵の身近な自然とのふれあいを通じて学ぶ埼玉県の展示施設で、センターのほか、屋外の雑木林や谷戸、湿地等のエリアで構成される。自然観察会やガイドウォークなどのイベントが定期開催されている。

用語	説明
狭山丘陵観光連携事業推進実行委員会	東京都と埼玉県都県境に広がる狭山丘陵を囲む6自治体（東村山市、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町、入間市、所沢市）と西武・狭山丘陵パートナーズ、さいたま緑の森博物館、狭山丘陵いきものふれあいの里センターが連携し豊かな自然を有する狭山丘陵地域全体の地域魅力向上を目指した活動を行う実行委員会。
産学官連携プラットフォーム	多様な利害関係者が交流できる場や機会。
シェアサイクル	共用自転車を自治体や企業が貸し出し、地域の移手段とする仕組み。
市街化区域	都市計画法に基づき、都市計画区域のうち、すでに市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域として都市計画に定めた区域。市街化区域では、一定のルールのもとに、建物を建築することができる。
市街地再開発事業	都市再開発法に基づき、市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的に、建築物や敷地の整備とともに公園、広場、街路等の公共施設の整備を一体的に行う事業。
持続可能なまち	将来の世代の思いも満たしつつ、現在の世代の思いも満足させるようなまち。
地場産農産物	地域で生産される農産物のこと。
市民緑地認定制度	緑化地域及び緑化重点地区内の民有地を市民の利用に供する緑地として設置・管理する者が、設置管理計画を作成し、市の認定を受けて、一定期間当該緑地を設置・管理・活用する制度。
人道橋	川・海・道路などを越すために架けられる歩行者専用の橋梁。
森林環境譲与税	地球温暖化防止策の一環として、森林整備を目的に国税の「森林環境税」とともに創設された。個人から年1千円を徴収し、一度国に集まった税金が、市町村や都道府県に配分される。森林整備や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進、普及啓発に充て、その用途は公表しなければならない。
ステークホルダー	利害関係者
スポーツツーリズム	スポーツを「観る」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光に加え、スポーツを「支える」人々との交流、あるいは生涯スポーツの観点からビジネスなどの多目的での旅行者に対し、旅行先の地域でも主体的にスポーツに親しむことのできる環境の整備等「豊かな旅行スタイルの創造」を目指すもの。
西武線沿線サミット	平成24年に、西武鉄道が100周年を迎えるのを機に、西武線沿線の起点から終点にある3自治体（豊島区・飯能市・秩父市）が当初締結し、平成30年から所沢市、横瀬町が参画した。地域の魅力の創出、観光事業の推進及び経済活動の活性化を図ることを目的に、西武線沿線地域の活性化に関する相互協定（西武線沿線サミット協定）を締結し、広域連携を行っている。
生物多様性	あらゆる生物種の多さ（種の多様性）と、それにより成り立つ豊かな生態系やそのバランスした状態（生態系の多様性）、さらに、生物が過去から未来へと伝える遺伝情報の多さ（遺伝子の多様性）までを含めた広い概念。
生物多様性地域戦略	生物多様性基本法に基づき、地方公共団体が策定する、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本計画。
ソラバル	地域の美味しいお店をハシゴしながら、食べ歩き・飲み歩き・まち歩きをするイベント「街バル」の所沢版イベント。
<b>た</b>	
多自然川づくり	河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和に配慮しながら、河川が本来有している生きものの生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うこと。

用語	説明
段丘崖	河川の流路に沿う階段状地形を河岸段丘という。元の谷の中に新しい谷がつけられる河川の浸食作用の繰り返しで形成され、元の谷床の部分の段丘面、新たな谷の壁の部分の段丘崖と呼ぶ。
地区計画	都市計画法に基づく制度で、特定の区域において、住宅地や商業地など地区の特性に応じたまちなみや環境の保全・形成を目的に、敷地や建築物等に関する特別なルールを都市計画に定め、地区住民・権利者が主体となりまちづくりに取り組む手法。
とことこガーデン	景観まちづくりモデル事業の一つ。庭や玄関先での花づくり等により、身近なまちの良好な景観の形成を進める取り組み。一般にはオープンガーデンと呼ばれる。
トコトコ健幸マイレージ事業	スマートフォンもしくは歩数計を使ってポイントを貯めながら歩き等による健康づくりを支援する事業。所沢市では、埼玉県「コバトン健康マイレージ」に参入し、さらに所沢市独自のポイントや景品を用意している。
所沢駅西口地区のまちづくり	市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街の創出を目指し、学識経験者をはじめ地元商業関係者や住民などによる街づくり協議会を立ち上げ、まちづくりや土地利用の方向性について協議し、現在は、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行によるまちづくりを進行中。
ところざわサクラタウン	株式会社KADOKAWAにより建設・運営される製造・物流施設と、図書館、美術館、博物館の融合した施設を中心に、その他の機能（ショップ、カフェ、イベントスペース、ホテル、オフィスなど）を付加した集客性の高い施設。
所沢市観光情報・物産館	「ところざわサクラタウン」に隣接して、所沢市の特産物PR・販売等の魅力発信拠点となる施設。
所沢市中心市街地活性化基本計画	中心市街地の都市基盤整備と商業等の活性化の一体的な推進を図れるよう、各種の施策を連携させながら、魅力と活力ある中心市街地の再生を図ることを目的とした計画。
所沢市みどりのふれあいウォーク	みどりへの理解と意識の向上を図ることを目的に、市内のみどりをウォーキングでめぐるイベント。
所沢市民フェスティバル	所沢市の市制施行30周年を記念し、昭和55年に初めて開催され、以後、2回目からは、「市民手づくりの祭典」として実行委員会の主催で開催されている。
所沢ブランド	都市ブランドとは、所沢市内外の人に「このまちに住みたい、観光に行きたい」という愛着や憧れを引き起こす都市イメージのこと。所沢市に住みたい、行きたいと思える所沢ブランドの創造・確立に取り組んでいる。
ところざわまちづくりしょうてん 野老澤町造商店	中心市街地活性化拠点施設として平成17年に所沢市と所沢商工会議所により市内寿町にて開設された「井筒屋町造商店」が平成20年に元町に移転し、名称を現在の「野老澤町造商店」に変更。活動内容は、店内での様々な展示やミニライブ、店外での各種イベントなどの開催。活動を通じて、地元の商店街や学校との連携を深め、開店当初より一層地域密着型のものになってきている。
トコロん	所沢市のイメージマスコット。市の鳥「ひばり」をモチーフに、日本航空発祥の地にちなんでプロペラ飛行機のイメージから、頭にプロペラをつけている。首に巻いた緑色のスカーフは、所沢市の特産“狭山茶”をイメージし、市制施行60周年記念事業の一環として、平成22年に誕生した。
土地区画整理事業	道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整宅地の利用の増進を図る事業。
トトロの森	「公益財団法人トトロのふるさと基金」が取り組みを進めるナショナルトラスト事業によって確保され、保全されている一連のトラスト地の愛称。
トラスト地	民間及び公共の団体が大切な自然環境等を寄附や買取りなどにより保全している土地。

	用語	説明
<b>な</b>	日本農業遺産	重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域において、将来に受け継がれるべき重要な農林水産業システムを農林水産大臣が認定する制度。
<b>は</b>	パートナーシップ	市民と企業、行政が一体となってまちづくりに取り組むこと。
	ハブ	中心となるところ。中枢。拠点。
	バリアフリー	社会に存在するさまざまな障壁（バリア）を取り除いていこうとする考え方。
	ヒートアイランド現象	都市の気温が、周囲よりも高くなる現象。
	PFI手法	Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）。公共施設等の建設、維持管理、運営等を、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
	フレンドリーシティ連携協定	所沢市と㈱西武ライオンズが結ぶ「連携協力に関する基本協定」のこと。それぞれが持つ資源を生かし、協働してさまざまな事業に取り組むことを通じて、地域社会の発展、市民福祉の向上に寄与することを目的としている。
	壁面緑化	建物などの壁面をつる性植物などで覆う緑化。みどりの創出による気温低減や建物の室内温度及び表面温度の上昇を防ぐ効果がある。
	ヘルスツーリズム	旅を通して健康づくり体験や健康への気づき、心身の保養につなげる旅のスタイル。
	ボールパーク化	㈱西武ライオンズが2017年11月に計画を発表したドームエリアの大規模な改修を行う40周年記念事業。「自然共生型の開放感に満ち溢れたドームへ」、「あらゆる世代のお客様が楽しめる「新しい価値」の提供」、「育成に定評のあるライオンズを追求できる環境整備」を掲げている。
<b>ま</b>	まちなかみどり保全地区制度	緑地の保護及び市民の良好な生活環境を確保し、市民に憩いの場を提供するとともに、みどりを保護する思想の普及及び民有緑地の高度利用を図り、地域の模範となる緑地の維持及び管理を図るための制度。市街化区域内の樹林地が対象。
	街並み緑化ガイドライン	良好なみどりのまちづくりを進めるため、住宅・店舗の緑化や植栽の管理の注意点を記載した市民向けの緑化の手引書。「みんなでつくるみどりの街 ～緑化の手引書～」というタイトルで市役所や市ホームページ等で配布している。
	マルシェ	地域産品等を販売する場やイベント
	緑の回廊	清瀬市柳瀬川回廊など、水辺、緑、親水施設、文化財を、遊歩道によりネットワーク化した空間
	みどりのパートナー制度	自発的かつ実践的な活動を行う個人又は団体を「みどりのパートナー」として登録し、活動場所や緑化資材の提供等を通じて、市民によるみどりの保全や緑化の活動を支援する制度。
	ミヤコタナゴ	コイ科に属する日本特産の淡水魚で体長4cm前後。明治42（1909）年に東京で発見されたため、ミヤコタナゴと命名された。生息域は湧き水のある池や沼、小川など関東全域だったが、環境悪化により急激に減少し、昭和49（1974）年国の天然記念物に指定された。所沢市では昭和53（1978）年に柳瀬川最上流で確認されて以後保護活動がおこなわれている。



用語	説明
武蔵野の落ち葉堆肥農法	人の手で育てた雑木林の落ち葉を堆肥化し土壌改良に用いる、江戸時代から武蔵野地域（川越市、所沢市、ふじみ野市、三芳町）で続けられてきた伝統農法。（2017年（平成29年）3月に日本農業遺産に認定）。
<b>や</b>	
柳瀬川回廊	清瀬市域を流れる柳瀬川の上流から下流に向かって、一部空堀川を取り込み、梅坂橋から清瀬市下宿ビオトープ公園までの約4kmのコースを基軸として、回遊性を高めるため一部左岸側を含め、その流域の親水施設、崖線の緑地（市有林等）を結びエリア。
ユニバーサルデザイン	年齢、性別、能力の違いなどにかかわらず、すべての人が心豊かに暮らせるような社会を築くため、さまざまな人に配慮し、すべての人にとって利用しやすい、施設、製品、環境、サービスなどをつくるという考え方。
<b>り</b>	
レインガーデン	降雨時に周辺の雨水を一時的に貯留し、時間をかけて地下へ浸透させる透水型の植栽スペース。

## 所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画

2020年6月

発行 所沢市  
〒359-8501 埼玉県所沢市並木一丁目1番地の1  
TEL 04 (2998) 9373 FAX 04 (2998) 9195  
E-mail a9373@city.tokorozawa.lg.jp  
URL <http://www.city.tokorozawa.saitama.jp>

編集 所沢市環境クリーン部みどり自然課  
協力 朝日航洋株式会社



